



香

Aブロック全作品と講評

www.columnland.net

いつも一緒に大活躍の私の舌

なめればなんでも分解する

くちの中のポセイドン

わたしの味覚を支配する

これだけにとどまらない……

もしも膨らんだアしが破裂して

ムリだぁ……と思うくらい口元を覆われても

ガンバって舌を伸ばせばきつと……

船 風

舌が持つ力から考察する

食事の音楽性

料理に対する褒め言葉に、絶妙なハーモニーというものがある。ハーモニーとは交響曲において、音と音の重なりを意味する要といえるものである。

ある。これは料理において、舌に対する味の組み合わせの良さを表現している。

ここにおいて料理や舌は音楽と近いものがあるといえる。音楽は曲をオーケストラや歌手を通して、彼らが奏で、歌うことで人々に様々な刺激を、食事は料理を舌に乗せることで舌が感じた味覚を脳へと導き刺激をもたらす。

すなわち、食事とは一つの曲であり、舌はさしずめ味覚のオーケストラである。オーケストラの演奏にそれぞれ違いがあるように、個々の味覚には差異があり、感じる味も違い

が出てくる。だからこそ、人がそれぞれ最高と思える味は同じであることはないのである。

近年、スローフードという言葉が流行っている。ファストフードやインスタント食品による「機能的」な食事から、食事をゆっくり楽しむことで「文化的」なものにしようという運動である。食事に時間をかけて楽しむフランスがクラシック音楽が盛んであることは偶然ではあるまい。

また、音楽による癒しは長く注目されている。ゆえに、音楽よりも日常的な食事を「文化的」に楽しむスローフードは、疲労の溜まった現代人には必要なことであろう。

急がば回れ、あなたが持つこの世で一つの楽団の奏でる曲を、しばし立ち止まって聴き入るのはいかがだろう。

整いました。

【牛タン】とかけまして、

【命令に背く人の気持ち】
と解く。

その心は？

どちらも、

したがうまい。

お後がよろしいようで。

おまもり

まだ世界が資本主義と社会主義とで激しく争っていた時、ある国は北と南を隔てた大きな戦争にのみこまれてしまった。アメリカが初めて敗北した戦争、東西冷戦の代理戦争、あるいは千年にも及ぶ独立のための戦争……ベトナム戦争。

ベトナム戦争に限った話じゃないけれど、戦争に行く兵士たちは実に様々な「おまもり」を持っている。ごくごく一般的なモノは家族写真とか手紙などだろう。敬虔なクリスチャンなら聖書。本当かどうかわからないけど恋人のストッキングを腕に巻きつけている奴もいたらしい。

ある兵士のはなし。彼は自分が殺したベトコン（南ベトナム解放民族戦線）たちの舌をナイフで切り取り、鉄のワイヤーで突き刺してネックレスにしていた。それらは次第に干からびてゆき、一見して黒ずんだ革の切れ端にしか見えなかった。

彼は激しい銃撃戦やゲリラに遭遇すると、きまって戦闘に入る前に舌のネックレスひとつひとつにキスをして自分が助かるよう願った。最初は気味悪がった同僚たちも、彼が不思議と生き残るうちにそのネックレスの御利益を信じるようになっていた。地雷を踏んでも不発で済んだというような事実を前にして反論することはできない。

戦争が終わった今、その舌のネックレスが本当にあったのかどうかわからないけれど、一つぼくが思うことは、おまもりなんてそんなものだ。自分が信じられるものならなんでもいい。…この話に教訓なんてものはないかもしれない。あるいは。

純粹に笑うことを忘れ

声を上げ泣くこともなくなり

舌を出して怒りを表すことを置いてきた

ぼくらは

一体何を得たというのだろうか？

奥歯に何かはさまっている

それに気づいて日常は色あせてしまった
舌は始終奥歯をさぐってしまふ

自転車をこいでも爽やかな風を感じない
朝日はまぶしいだけ
雑踏はうざったいだけ

一体何がはさまったんだろう
僕の思考も奥歯にはさまったままだ

ついに異物に語りかけた

いつかポロリといなくなるんだろう
それでも君は今現在、僕を邪魔したいんだね

異物は何も返さない

僕は舌で奥歯を探る

もう僕は異物しか感じられない

虜

千ロル千ヨコを舐める

君のたったそれだけのしぐさが

僕の心をぐぐって離さない

二枚舌

僕は人と話をするのが苦手だった。教室では誰と話をするのもなく一人本を読んでばかりいた。別に話をしたくないというわけではなく、僕もクラスメイトの楽しそうな輪の中に入りたかったが、何を話せばいいのかわからなかった。

ある朝僕は自分の舌が二枚になっていることに気がついた。以前からあった舌の裏に小さな舌が増えていた。不思議な感覚のまま登校し、教室に入るとき、信じられないことがおきた。

「おはようっ！」

一瞬何がおきたのかわからなかった。それは自分自身の声だった。教室に踏み込んだとき、例の二枚目の舌が勝手に動き、僕にしやべらせたのだ。

それ以来、僕が何も考えていなくても自然と舌が動き、僕は声を発し続けた。この舌はきわめて饒舌で、僕自身感心するほどに会話運びがうまかった。たちまち僕はクラスにうちとけ、クラスメイトたちに囲まれるようになっていた。

僕が話すことはほとんど僕が思っていることではなかったし、ときには自分の言いたいこととは正反対の発言をすることもあった。明らかに僕が皆に見せている自分は本当の自分ではなかった。最初はやはり気味が悪かったし、クラスメイトをだましているようで申し訳ない気持ちになった。しかしこの舌に任せておけば楽しい生活を確実に送れるというのも事実だった。僕はその魅力に負け、次第に本当の自分を隠すようになった。

後日、僕は舌に任せてクラスメイトと会話をしている、あることに気がついた。僕はその事実打ちのめされ、以前の暗い生活に戻ることになった。

クラスメイト全員の口の中に二枚の舌があった。

本当は

大きな声で聞いてほしいハズなのに

キミは「ちえっ」って

舌打ちをするばかりで

いつも独り言の中に隠しているね。

でも大丈夫。

キミのいる場所は

もう何も言えない

何の音も出せないような

絶望じゃないってことだよ。

舌を切られなかった雀の話

昔むかし、けがをしたすずめは、山でおいしいさんに助けられました。元氣になったすずめは、ちゅんちゅん鳴いておいしいさんに甘えました。「このじいさんは利用価値がある」そう思ったのです。おいしいさんは、すずめを自分の子供のよう

に可愛がりました。

ある日のこと。おいしいさんは山へたきぎを拾いに行きました。おばあさんが洗濯をしに川へ行こうとすると、すずめが寄ってきて、洗濯のりを食べてしまったのです。

「あれまあ！」おばあさんは驚いたものの、かわいらしい様子のすずめが大好きで、とても怒る気にはなりませんでした。

「洗濯ができないなら、庭の芝でも刈ろうかしら」そう思ったおばあさんは、家から鎌とはさみを取り出してきました。

それを見たすずめはびつくり！「あのばばあ、はさみなんか取り出してきやがって！俺の舌を切るつもりかい！なんとかせねば」そう思ったすずめは、おばあさんに

話しかけました。「おばあさん、おばあさん、いつもありがとう。この感謝の気持ちは言葉では現わせません。どうしてもお二人にお礼がしたい。こちらへどうぞ」すずめは、おばあさんを山の中のすみかへと案内しました。

「今まで本当にありがとう。こちらの大きなつづらをどうぞお持ちください」すずめは、大きなつづらをおばあさんに渡しました。

つづらを開けたおばあさんはびっくり仰天、つづらの中からは、お化けやへびや、むかでや、かえるがわんさかでてきたのです！

命からがらにげるおばあさんを見て、すずめは腹の底から笑いしました。「どうだい、あの様は！」

このすずめがどうなったかといいますと、この後どこで何をしたのか、とんとわかりませんが、死んだあとは地獄に行つて、閻魔さまに舌を抜かれてしまったとのこと。めでたしめでたし。

話声

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
A01	風船ガムもこわくない	0 pt きれいなヨコヨミフレーズが入った表紙で、今週のスタートです。 けなげさがしっかり形になっていますね。「くちの中のポセイドン」という表現が特にお気に入りでした。 特別賞：逆あいうえおガンバったで賞（ガンバったねー）テクニカル賞（風船ガムも怖くない） イチオシフレーズ：「もしも膨らんだアレが破裂して」	10 位	2 sp
A02	断舌道場	0 pt なんだろ、この謎の道場と分け入っていくと、ラストで大写しになる口内炎がブキミです。 ちょっとSF的でもあるシュールな味わいでした。もしかして、ダイエットへの風刺も含まれていたりしたでしょうか。 特別賞：タイトル詐欺で賞（舌が切られる展開を期待してたのに……）	10 位	1 sp
A03	舌が持つ力から考察する 食事の音楽性	8 pt 料理と音楽という、遠いように見える二つをていねいに結びつけて、しっかり説得力を獲得しています。 おとなのコラムの風格でした。 「機能的」vs「文化的」。こんなふうにキーワードをセットにして提示すると、ロジカルにすっきり仕上がります。正統派を目ざす諸氏は基本テクを学ぶべし。	4 位	0 sp
A04	無題（【牛タン】とかけまして）	13 pt ウケようがコケようが構うもんか！ ずとんとシンプルな潔さが持ち味でした。 その潔さが読者の琴線にピンポイント、みごとヒットしましたね。ブロンズ・メダルにイチオシフレーズ大賞も合わせゲットです。おめでとう!! 特別賞：気付かなかったで賞（大半が気付いてなかった）ねづっち賞（整っていたから）謎かけ賞（うまい!） イチオシフレーズ：「したかうまい。」× 5	3 位	3 sp
A05	おまもり	2 pt ひからびた舌を連ねたおまもり。グロテスクさで迫りつつ、人という弱い存在が何をよすがに生きてゆくのかという哲学的な洞察へいざなっていただきました。 特別賞：R-15指定で賞（グロいから） イチオシフレーズ：「恋人のストッキング」「あるいは。」	9 位	1 sp
A06	無題（純粹に笑うことを忘れ）	3 pt 失うことでおとなになってゆく。「舌を出して」の一語が、とがって光ってます。	8 位	0 sp

		夕焼け空に静かなナレーションで聞きたいフレーズでした。
A07	膚	23 pt1 位0 sp もやもやのかたち。比喩的な表現で、日常にありがちの感覚をうまく再現していただきました。 ありますよね。いらだちや怒りのように爆発せず、じくじくぐずぐず引かかる厄介ごと。それこそが人生そのもののありよう。 ストーリーの感動もネタの起爆力も使わずに、これだけじっくり読ませてしまう。一見地味なこの作品をゴールド・メダルに選んだフロアもおみごとでした。 おめでとう!! イチオシフレーズ：「それに気づいて日常は色あせてしまった」
A08	無題（千口ルチョコ）	6 pt7 位0 sp うん、これはユニーク着眼。「チ口」→「舌」ですか。なあるほど。 あんなちっちゃなモノを舐める彼女。それはきっと男の視線を意識して誘っている艶っぽいしさ。 ダメですよ、お兄さん、そんな初級テクでダメされちゃ。夏場は特にご用心。 イチオシフレーズ：「チ口ルチョコ」
A09	二枚舌	21 pt2 位1 sp みんなじつは二枚舌という寓話をあざやかに造型していただきました。 再び引きこもってしまった暗い結末。その先に僕の未来はあるのか。先が気になってしまうほど深い印象を刻みます。 二週連続シルバー・メダルは、すばらしい戦績だけれど、作者さんはさらに上を目指しているようです。がんばれー。何はともあれ、おめでとう！ 特別賞：非国民賞（班員が誰も観戦していなかったから。作者のことではありません。面白かったです。） イチオシフレーズ：「クラスメイト全員の口の中に二枚の舌があった。」
A10	無題（本当は）	0 pt10 位0 sp ポジティブ気分が伝わってきます。 ただ状況が良く見えません。舌からその持ち主へ語りかけている応援メッセージ？ それとも逆でしょうか。 どちらとも取れそうですが。 作者さんのご登場をお待ちします。
A11	舌を切られなかった雀の話	7 pt5 位0 sp 舌切り雀+桃太郎+鶴の恩返し+α。おとぎ話ミックスをころころ楽しく転がして。 さいごは、あざとい雀の残念な結末へと収束して、ちゃんと勧善懲悪のお約束に収めたところもグッジョブでした。まさに、めでたしめでたし！ イチオシフレーズ：「どうだい、あの様は」
		7 pt5 位7 sp 話し声。「言」を取ったら、ただの「乱声」。 深い意味を秘めつつ、……（折れ線だったんです！） だけでさっくり見せて。クラフツマンシップあふれる

A12	話し声	今週の裏表紙でした。 作者さんの意図が読めた班もそうでない班も興味しんしん、話題をさらって最多特別賞です。おめでとう!! 特別賞：意味がわからないで賞（気になる。印象に残る）ズレたで賞（折れ線がずれてたから）本田賞（無回転）気付かなかったで賞（半角の「し」に意味が、、、？）折り曲げま賞（点線で折ると……）何なんで賞（謎が多い！）ある意味12で、賞（話題をさらった。） イチオシフレーズ：「話し声」×3
-----	-----	---

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	無題（甘味塩味）	1 pt 味覚戦隊5レンジャー！な気分の表紙です。 まったり甘味、すっきり酸味、似合いそうなフォントをコレクションしていただきました。色が付くともっと楽しい企画かも。 特別賞：辛味賞（味の要素として一般的な辛みではなく、うま味を採用した点） イチオシフレーズ：「おなかがすきました。」×4	8 位	1 sp
B02	コトノハ	0 pt 堂々の正統派登場。 さりげないつかみから入って、言霊論を全面展開。呪文という現象にフォーカスすることで、説得的な論理展開になっています。序盤の「口調」の話だけが論理にうまく組み入れられていない感。そのあたり、きれいにするともっとパワフルになりそうです。 特別賞：Nice boat賞（タイトルより「中に誰もいませんよ？」）	9 位	1 sp
B03	動物たちのお話	0 pt えーそこ「犬」でしょ、とツッコミながらも動物会話の楽しさに入っていくと、二枚舌牛へと世知辛く収束。牛の振る舞いと犬猫の作戦がぴたり一致してウィットの効いた仕上がり。グッジョブでした。 しかし、牛はふつう養殖しないでしょ。海牛か？ 特別賞：「なあ、犬さんよお」賞（猫が自分で「なあ、猫さんよお」と言っているから）ミスったで賞（猫「なあ、猫さんよお」） イチオシフレーズ：猫「なあ、猫さんよお」	9 位	2 sp
B04	とある4時間目の早弁（ランチタイム）	0 pt 授業内容とオチをリンクさせるという仕掛けで、なあるほどと納得しつつ、ちゃんと豆知識ゲットにもなるという、工夫されたおもしろいつくりでした。 しつもん。松橋君は佐藤君の心中トークをどうやって察知したのでしょうか？ 特別賞：畜賞（特別賞名が作りやすかった。） どや賞（松橋君のどや顔）	9 位	2 sp
B05	ひとひらの恋	10 pt 夏祭りの夜だから。人は幻を見てしまう。 林檎飴に濡れた真っ赤な舌のつややかさ。 くっきり切り取ってあざやかです。 ロリータを枕にたんたんと抑えた筆致で語ることで、底知れない愛情の深淵へとすーっと引き込まれます。人生、至るところ林檎飴あり。	5 位	2 sp

		特別賞：ロリコン乙で賞（作者ロリコンで賞） 上位に入って欲しいで賞（現実味がある！！）
B06	日記	14 pt2 位0 sp 「ちょっと舌打ちしたくなりました」のリフレインが、いいリズムで歌詞のように効いて、日常感あふれた親しみやすい作りです。 そしてラストへ。終わりよければすべて良し。経済学ではピークエンドの法則と申します。明日もいいことありますように。 ぎっしりの力作揃いの今週、さわやかな風を吹かせてシルバー・メダルでした。おめでとう!! イチオシフレーズ：「おまえってはんぺんに似てるよな」「ちょっと舌打ちしたくなりました」
B07	アオンベ	13 pt3 位1 sp 遠き夏の日の一瞬のめぐりあい。イチゴからブルーハワイへと好みが変わった、そのわけは。 ストーリーをていねいに組み立てつつ、アオンベというユニークな造語で印象づけて、しっとり浸れる世界を仕上げていただきました。ストーリーテラーとしては手ごたえのブロンズ・メダルですね、おめでとう！ 特別賞：ブルーハワイ賞（甘酸っぱいですね。） イチオシフレーズ：「アオンベ」
B08	舌の気持ち	0 pt9 位1 sp がんばってくれてる舌の気持ち。すっかりなりきって、ああそんなふうに見えるのかとミニ・トリップ体験。さりげないづくりが好印象です。 特別賞：大変で賞（大変そうだから。）
B09	嘘	33 pt1 位0 sp 感動巨編です。病気の妹さんが出てきてしまっはニートも勝てませんね。 人生初めての嘘をひっくり返して見せたお兄ちゃんの愛！ 閻魔さまの前で、終わって振り返る人生の意味に至るまで、緻密にパワフルにつくりあげていただきました。ラストの鏡がいい光景です。 すでいすでい。圧勝でしたね！おめでとうゴールド・メダル!!!
B10	僕と彼女ととろろ芋	11 pt4 位3 sp rubかな、たぶん。わははなオチでした。 テキサスガールをとろろ芋で口説いちゃう。発想の楽しさとコミカルな展開で、もはやエンターテナーの域に達しています。 ベスト3は惜しくも逃したけれど、最多特別賞&イチオシフレーズ大賞のダブル受賞です、おめでとう!! 特別賞：最多R賞（Rが文中に36個あったため）面白いで賞（他の作品とちがって軽い感じがよかった。） 浮気で賞（浮気はいけません。） イチオシフレーズ：「あい RRRRRRRRRRRR らぶ ゆう！！」×5 「とろろRRRRいも」
B11	覚悟	5 pt6 位0 sp 中途半端に死ぬな。極限状況を設定することでメッセージが強烈に伝わってきます。 設定の巧みさとともに「諦めの沼に足が引き摺こまれる」なんていう、こまやかに工夫された心情表現が、とても印象的でした。 イチオシフレーズ：「覚悟っていうのは命懸けで生き抜

		くためのものなんだ。」
		3 pt7 位2 sp
B12	月と日本酒	ラストはおとなの世界へどうぞ。 心がひりひりする夜は、高級バーじゃダメなのさ。月を見ながら、のんびり安酒の屋台がいい。人生を背負った男の背中が淡く浮き上がります。 「月はすこし欠けてるくらいがいい」——道長ぼっちゃんさようなら。酸いも甘いも噛み分けたおとなの哲学でした。 特別賞：大人賞（大人だから）年齢詐（称）賞（何歳ですか？）